

適用問題 2年 「長方形と正方形」(3/10)

(1) 目標・評価規準

本時の目標	三角形や四角形の定義を根拠として、弁別の理由を説明することができる。
本時の評価規準	【考】構成要素に着目し、三角形や四角形の弁別の仕方を考え、説明している。

(2) 展開

	学習活動	主な発問(○)と 予想される児童の反応(・)	評価規準 (評価方法)	指導上の留意点
導入 5分	<p>1 学習課題をつかむ。</p> <p>2 めあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">                     三角形や四角形の見つけ方を考えよう。                 </div>	<p>○三角形や四角形を見つけましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ちょっと分かりにくい図形があるな。</li> <li>・ちょっとおかしい所があるよ。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時を振り返り、定義の確認をする。</li> <li>・図形の拡大図を見せ、本時では、はっきりしない図形について吟味していくことを知らせる。</li> </ul>
展開 30分	<p>3 自力解決をする。</p> <p>4 それぞれの考えを発表し、検討する。 (言語活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアで伝え合う。</li> <li>・全体の場合へ出し合う。</li> </ul>	<p>○三角形や四角形を見つけたら、そのわけも書きましょう。</p> <p>○どのように分けたか、わけも入れて発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三角形は㊸と㊹。わけは、3本の直線で囲まれているから。</li> <li>・四角形は㊺と㊻。わけは、4本の直線で囲まれているから。</li> <li>・㊼と㊽と㊾と㊿はどちらでもない。わけは、㊼はすきまがあいているから。㊽は線が曲がっているから。㊾は直線でない辺があるから。㊿はかどが丸くなっているから。</li> </ul> <p>○どんなことに気をつけて、三角形や四角形を見つけましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・直線で囲まれているかどうか大事。</li> <li>・辺の数を数えると三角形か四角形か分かる。</li> </ul>	<p>【考】構成要素に着目し、三角形や四角形の弁別の仕方を考え、説明している。 (発言・ワークシート)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自力で考えにくい児童には、定義や「辺」「角」「頂点」などのキーワードを与える。</li> <li>・ペアで考えを交流させ、自分の考えを発表することへの意欲を高める。また、自分の考えを深めたり、説明の仕方を見直したりできるようにする。</li> <li>・誤答は㊸→㊹→㊺・㊻→㊼の順に取り上げ、説明させる。</li> <li>・全体の場合で、必ず答えを確認する。</li> <li>・三角形や四角形である条件は「直線」「辺の数」「囲まれている」という3つであることをはっきりさせる。</li> </ul>

